



北中だより



<http://nk-kitanaka-j.la.coccan.jp/>

中野区立北中野中学校

★部活動・夏季大会での頑張りを振り返って…

校長 津村 慶

運動部の夏季大会が進んでいます。見事に上位大会に勝ち上がっている部があれば、善戦しながらも惜しいところで負けてしまった部、残念ながら実力を出し切れずに終わってしまった部などドラマはそれぞれです。どの部活動の試合を見ても、勝利を信じて全力でプレーをする生徒の姿はとても清々しく、気持ちの良いものです。「何とか勝たせてあげたい。勝ってこの先も試合を続けてほしい。」とつい観戦する手に力が入ってしまいますが、思い通りにならない現実もあります。対戦相手のプレーを見ると、北中の方が上手いと感じる相手もいれば、相手の方が実力が上と思われる相手もいますし、実力はほぼ互角で、その日の調子や試合の流れで勝敗が決まる場合もあります。いずれにしても、勝利した学校は相手の学校よりも、さらに厳しくハードな練習を積み重ねてきているのでしょう。

「練習は試合のように。試合は練習のように。」とは、様々なスポーツの指導でよく耳にする言葉です。試合で100%の力を発揮するためには、普段の練習でも100%の力で取り組む必要があります。逆の言い方をすれば、普段の練習で80%の力しか出していなければ、試合で100%を発揮することはできません。力を出し切れずに負けてしまったとしたら後悔が残るでしょうが、持っている力をすべて出し切った結果で敗れたのなら、悔しさの中にも晴れやかな気持ちになれるはずです。勝ち上がってまだ試合が残っている部も、夏季大会が終わってしまった部も、もう一度、これまでの自分自身の取り組みを振り返ってみましょう。悔いの残らない取組だったことを願っています。

このことは、部活動の取組に関する話だけではありません。3年生はこれから本格的に始まる受験勉強について、1・2年生は日々の学校生活やそれ以外の活動についても同じことが言えるはずです。自分にできる最大限の努力を日頃から続けているか。普段から100%の力で準備を積み重ねているか。もう一度繰り返しますが、80%の力で準備をしていたら、本番で100%の力を発揮することはできないでしょう。自分にどこまで負荷をかけられるか、本気で満足できるレベルまで自分を追い込んで準備できるか。スポーツでも芸能でも勉強でも、より高いレベルに自分を引き上げようと思うなら、それ相応の努力が必要です。苦しいかもしれませんが、自分の力をより伸ばしていくためには、余力を残して余裕で取り組むのではなく、100%の力で準備を進めることがとても重要です。ましてや中学生という成長の著しい時期は、全力で取り組めばその熱量に応じていくだけでも力が伸びていく大切な時期でもあります。

部活動にはとても前向きで熱心に取り組んでいる北中生ですが勉強においてはまだまだ100%の力を注いでいない人が多いように感じます。確かに、好きで取り組んでいる部活動と勉強を同じようにできない気持ちは分かります。しかし「楽しくないから…」とって後回しにしているのは、大事なときに力を発揮できずに終わってしまいます。名作と言われる漫画「ちはやふる」に「やりたいことを思いっきりやるためには、やりたくないことも思いっきりやらなきゃいけないんだ。」という名言があるように、皆さんのこれから先の長い人生を見通せば、部活動で自分を鍛えるのと同じかそれ以上に、勉強で力を伸ばすことが大切であるのは間違いありません。「文武両道」を本気で目指して、「やりたくないこと」にも全力で取り組むことで、力を伸ばし自分を成長させてほしいと願っています。

『ちはやふる』末次由紀（講談社）



高等学校の先生の授業体験

5月24日(金)に3年生が高等学校の先生方による授業を体験しました。都立高校から武蔵丘高校、新宿高校、東久留米総合高校、第四商業高校、私立高校から関東国際高校、日大鶴ヶ丘高校、日体大荏原高校、錦城高校の合計8校の先生方にお越しいただき、5・6時間目に2種類の授業を受けました。内容も「高校レベルの英文読解」、「世界史」、「産業社会と人間」、「コミュニケーションとビジネスマナー」、「タイ語とベトナム語」、「投げる力の探究」、「高校数学の導入」、「英語と日本語～完了形」と多種多様で、普段、中学校で学習する内容とは大きく異なるものでした。はじめは緊張していたものの、気さくに話しかけてくださる先生方の授業に引き込まれ、楽しく授業を受けることができたとともに、中学校のレベルを超えた専門性の高い授業に刺激を受けたようです。

進路への取組は慌てず、焦らず、後回しにせず、早い時期から着実に進め、しっかりと考えていくことが成功条件となります。夏休みを前に受験生としての意識を高めるとともに、進路選択に向けて高校選びを早めにスタートできるように、今年は昨年よりも早い時期に授業体験を実施しました。この機会に3年生の「やる気スイッチ」が入り、行動し始めることを期待しています。



「がん教育」講演会

6月4日(火)に3年生が「がん教育」について専門家の先生から学びました。

国立国際医療研究センター病院から3名の先生方にお越しいただき、「正しく知ること・共に生きること～がんを通して考える～」というテーマで講演をしていただきました。始めは「がんになる原因」や「世代別・男女別発症率」といった基本的な内容から「自分ががんと診断されたときにどんな心配事が浮かぶか?」といった内容を近くの人同士で話し合っただけ発表するグループワークまで、幅広い内容を学びました。自分を含め身近な人ががんになったときに、本人がどのような悩みを抱えるのかを考え、それらの悩みを相談できる専門家や機関について知ることががんという病気を正しく知り、前向きに生きていくという内容でした。暗いイメージが先行してしまうがんという病気に対して、正しい知識を得て予防や早期発見に必要な知識を得ること。そして、もしもがんになった時に一人で悩まず、必要な支援を受けながら治療を前向きに考えるために必要なことなどを学びました。



薬物乱用防止教室

6月4日(火)、中野ライオンズクラブと野方警察署スクールサポーターの方にお越しいただき、1・2年生を対象とした薬物乱用防止教室を実施しました。1年生は4校時に「喫煙と健康について」というテーマで、また2年生は5校時に「薬物乱用について」というテーマで動画を視聴し、講演を聞きました。

1年生は、たばこの煙、特に副流煙に有害な成分が多く含まれていて、喫煙している人だけでなく、そばにいる人にも影響があることや、たばこに含まれる有害成分が中学生の成長に及ぼす影響についてを説明していただきました。

2年生は、薬物を接種することが私たちの脳や身体にどれほどの悪影響を及ぼすかを、シンナーを使った実験を通してわかりやすく解説してくださるとともに、薬物が意外にも身近なところにあり、若者がターゲットとして狙われていることにも触れ、たとえ誘われても「はっきり断る」と、「その場を離れる」ことの2つが大切であることを教えていただきました。



職場体験・マナー講座

2年生は7月1～3日に職場体験学習を予定しています。その前に体験先でのマナーや作法を学習するため、6月11日(火)に都立第一商業高等学校の平野篤士校長先生をお招きして「職場体験でも役に立つ中学生のビジネスマナー講座」と題して講演をしていただきました。講演は「なぜマナーが大切なのか?」という問いかけから始まり、「他の人との良好な関係を築くためには、相手に対する感謝と敬意を表すことが重要だから」であり、マナーはその考え方が基本になっていること、感謝と敬意を表すポイントは「あいさつ、言葉遣い、身だしなみ」であることを説明していただき、具体的な作法について丁寧に教えていただきました。

また、マナーを身につけるだけでなく、相手の気持ちを考えて、望ましい話し方、聞き方を身につけ、コミュニケーション能力をあげるなど、社会に出て多くの人と接していく中で必要な事柄を多岐にわたって教えていただきました。今回のマナー講座で学んだことが、職場体験学習の本番に生かせるといいですね。



「笑顔あふれる北中野ファミリー」NEWS !!

【保幼小中連携】上鷲宮小学校・運動会ボランティア

5月25日(土)に連携する上鷲宮小学校の運動会が行われ、中学校から3年生1名、2年生7名、1年生3名の11名がボランティアとして参加しました。5月らしい爽やかな気候のもと、用具係や低学年の児童観察、ライン引きやゴールテープ担当など、依頼された仕事をしながら、後輩となる小学生の運動会を応援しました。懐かしい先生方に久しぶりに会って話をしたり、知り合いの保護者の方から声を掛けてもらったりと、有意義な時間となりました。受け入れてくださった上鷲宮小学校の先生方に感謝いたします。

今年は昨年以上に地域でのボランティア活動に力を入れ、「社会の役に立てる中学生」を目指した取組を進めていきます。

今回、参加できなかった北中生は、ぜひ次のボランティアの機会に応募して、誰かのために働くことの大切さを経験してほしいと思っています。



【保幼小中連携】オープンキャンパス実施&幼稚園授業公開



6月7日(金)の5・6校時、小中連携教育の一環として上鷲宮小学校と武蔵台小学校の6年生を対象としたオープンキャンパス(中学校の授業体験と中学生による学校紹介)を実施しました。

5校時は中学校で学習する9教科の授業について希望を取り、それぞれの教室に分かれて体験してもらいました。小学校とは違った内容に緊張しながらも楽しく授業を受けることができたようです。また中学校の先生方と顔見知りになったことで、進学の際の心配が減り中学校生活が楽しみになってほしいと願っています。

6校時は体育館に集まり、生徒会役員が中学校生活や生徒会活動について紹介したのち、各部活動の代表者による部活動紹介を行いました。中学生はそれぞれが工夫を凝らし、6年生に興味をもってもらえるように楽しく説明をしていました。

また6月11日(火)には連携するかみさぎ幼稚園の公開授業を中学校の先生が参観に行きました。普段は見る機会の少ない幼稚園の授業ですが何をねらいにしているのか、どのような様子で園児が授業に取り組んでいるのかなどを見学し、地域の子どもたちが受けている幼児教育について学びました。

